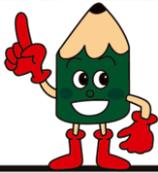




興東地域学校規模適正化 検討協議会ニュース 第1号



平成25年4月
教育政策課



奈良市学校規模適正化について

本市では、少子化により子どもの数の減少が続き、多くの地域で学校の小規模化が進んでいます。小規模校の良さはありますが、小さすぎる場合には教育的効果を十分にあげられない状況が考えられ、統合再編等を含めた学校の規模及び配置の適正化（学校規模適正化）が必要となっています。

教育委員会では、奈良市学校規模適正化検討委員会からの提言を受け、平成20年1月に「奈良市学校規模適正化実施方針」と「中学校区別実施計画（案）」を策定し、より良い教育環境の整備・充実のため学校規模適正化に向けて取り組んできました。

東部地域においては、平成23年4月に大柳生小学校と相和小学校が統合再編し、新たに興東小学校が開校しました。複式学級は解消され、現在も子どもたちがより多くの仲間とともに生き生きと学校生活を送ることができています。

学校規模適正化の実施にあたっては、対象地域において保護者や地域住民、学校関係者のそれぞれの代表からなる協議会を設置していただき、十分協議し進めていきます。

第1回 興東地域学校規模適正化検討協議会を3月26日（火） に興東中学校で開催しました。

検討協議会の
委員が決まり
ました。

委員は地域住民の代表12名、保護者代表4名、学校関係者4名の計20名で構成されています。

会長には狭川地区自治連合会会長の須蒲さん、副会長には東里地区民生児童委員協議会会長の小林さん、興東中学校PTAの田中さんが選出されました。

興東・柳生中
学校区実施計
画(案)につい
て、教育委員
会事務局より
説明しまし
た。

平成24年度の生徒数は興東中学校が40名、柳生中学校が15名ですが、今後は両校合わせて50名前後を推移すること、小規模校のメリットやデメリットのこと、通学方法、適正化の進め方、そして大柳生小学校の中学校仕様の改修工事のことなどを説明しました。





大柳生小学校の中学校仕様の改修工事の概要は？

☆施設改修の主な内容（概要）

- ① 武道場を体育館前の場所に新設します。
- ② 職員室を拡張します。
- ③ 旧多目的室を保健室と特別支援教室に改修します。
- ④ 旧図書室を技術室に改修します。
- ⑤ 旧図工室を図書室に改修します。
- ⑥ 理科室と家庭科室の机の高さ変更を行います。
- ⑦ 生徒用トイレをすべて洋式便器に改修します。
- ⑧ コンピュータ室を設置します。
- ⑨ 体育館のバスケットゴールの高さを上げ、コートラインを変更します。
- ⑩ 運動場は、ブランコなどの遊具を撤去し、高鉄棒と砂場を新設します。
- ⑪ プールサイドは、子どもたちの安全のためコンクリートの上に塩ビシートを貼ります。
- ⑫ 自転車置き場を図書室西側に設置します。
- ⑬ 校門前の道路を階段下付近まで拡張します。



検討協議会の中で、次のようなご意見やご質問をいただきました。（概要）

- ★ 我々はこのように検討協議会を開いて話し合いをしているが、柳生地域はどのような状況なのか。また、この話は興東地域と柳生地域が並行していくべきではないのか。
 - 柳生地域には3月22日(金)に保護者対象の説明会を実施し、今日と同じ話をした。確かに柳生地域では検討協議会を開催できていないが、今後も続けて柳生地域に対して統合の計画を理解していただく努力をしていきたい。(事務局)
- ★ 平成22年に東部地区が市長宛てに出した要望書には、「仮に柳生が何らかの事情で統合しないととしても、興東中学校の老朽化や耐震構造が改善することがないことから、柳生中学校の統合云々とは別にして、大柳生小学校を中学校仕様の工事着工をお願いします。」とある。この内容をまずこの場で確認する必要がある。
- ★ 平成22年に要望書を出している時点で、もうすでに決まっているのではないか。地域の皆さんにもそれですでに話をしている。もちろん市長にも伝えている。
- ★ 3地区の認識を確かめる必要がある。「そんな話は知らん。」ではいけない。そこで、「柳生中学校の統合云々」ではなく、興東中学校が大柳生小学校へいくという前提で考えていく。
- ★ 梅雨の時期になると大柳生小学校の廊下がべとべとになるので、とても危険である。
- ★ 自転車通学の子どものために、通学路の安全確保を考えてもらわないといけない。
- ★ たくさんの意見が出てきた。教育委員会は次回に資料を出し、今日出てきた意見の回答もしてほしい。



第2回学校規模適正化検討協議会は、5月に開催予定です。

お問い合わせ先 奈良市教育委員会事務局教育政策課 TEL 34-5386